

熱く 羽ばたけ 大潟っ子

白鳥



校長 通信
大潟村立大潟中学校
令和8年6月30日(火)発行
NO.3 文責:半田 昌幸



大潟中学校が目指す生徒像が具現化している場面が、学校生活のいろいろな場面で見られます。今回はその一部を紹介します。

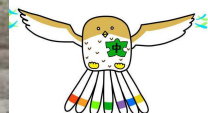
■ 自ら学び、表現できる生徒 ■

大潟中学校では秋田の探究型授業の基本プロセス「課題設定」「自分の考えをもつ」「学び合い」「まとめ・振り返り」をベースにして、問いを立てる力や協働して課題を解決する力、自分の考えを表現する力を高め、問題解決能力の向上を図っています。日々の授業では、自分の考えを積極的に話す生徒や自分の考えと比較しながら考えを深めようとする生徒の姿をこれからも引き出していきます。



■ 高い志をもち、凡事を徹底できる生徒 ■

菜園活動がスタートしました。サツマイモと枝豆を育てています。プランターの花と畑への水やりは14の縦割班が毎日、順番に行っています。約2週間に一度の当番活動ですが、その自分の役割に責任をもち、他者と協働して取り組める生徒がたくさんいることは大潟中学校の誇りです。



■ 思いやりの心をもち、仲間と共に励む生徒 ■

自己の向上を図るとともに、困難にも開拓者精神をもって粘り強く取り組んできた部活動。激励会では、自分の思いを全力で表現した決意表明が見られました。また、互いのよさを認め合い、応援し合う姿は、絆の深さを感じさせるものでした。



玄関には、各部への応援メッセージが掲示されました。互いを応援し合う素晴らしいメッセージにあふれていました。

ある日の朝、登校時に小学生が転んでしまいました。その場にいた小学生と中学生が一緒になって世話をしていた時の様子です。中学生は自分の持っていた絆創膏を傷口に貼ってあげていました。心温まる場面でした。



様々な場面で、大潟中学校の生徒たちの成長の様子が見られます。目指す生徒像が具現化している場面です。今後も育成したい資質・能力を高めていくために、しっかりとねらいをもって、様々な取組を進めていきます。